

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 1 P 1/07		Z 9010-2F		
B 6 0 K 31/00		Z 6948-3D		
	35/00	Z 6948-3D		
G 0 1 P 1/10		Z 9010-2F		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号 実願平3-10762

(22) 出願日 平成3年(1991)2月7日

(71) 出願人 000006895

矢崎総業株式会社

東京都港区三田1丁目4番28号

(72) 考案者 長嶋 良和

静岡県裾野市御宿1500 矢崎総業株式会社
内

(72) 考案者 西谷 啓三

静岡県裾野市御宿1500 矢崎総業株式会社
内

(72) 考案者 井上 泰

静岡県裾野市御宿1500 矢崎総業株式会社
内

(74) 代理人 弁理士: 瀧野 秀雄 (外1名)

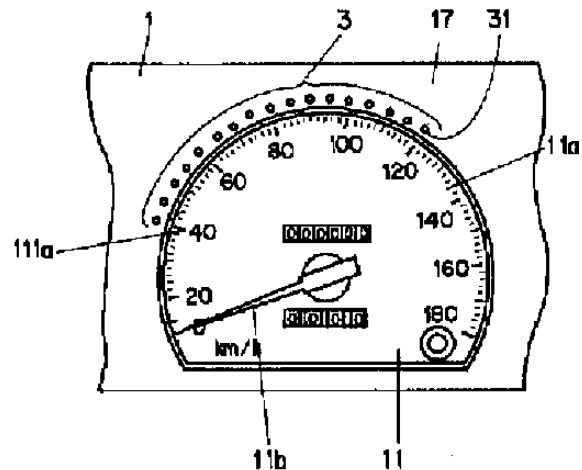
最終頁に続く

(54) 【考案の名称】 定速走行装置の設定速度表示器

(57) 【要約】

【目的】 少ないスペースでスピードメータ付近に設けることができ、その結果、定速走行の設定速度と実際の速度とを容易に見比べることができる定速走行装置の設定速度表示器を提供することを目的とする。

【構成】 予め設定した一定速度で走行するように車両の走行を制御する定速走行装置の前記設定速度を表示する設定速度表示器3において、スピードメータ11の目盛り111aに沿って複数のインジケータ31をドット状に配置し、該複数のインジケータ31の内の前記設定速度に対応するものを点灯して設定速度を表示するようにしている。



- 3 設定速度表示器
- 31 インジケータ
- 11 スピードメータ
- 111a 目盛り

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 予め設定した一定速度で走行するように車両の走行を制御する定速走行装置の前記設定速度を表示する設定速度表示器において、スピードメータの目盛りに沿って複数のインジケータをドット状に配置し、該複数のインジケータの内の前記設定速度に対応するものを点灯して設定速度を表示するようにした、ことを特徴とする定速走行装置の設定速度表示器。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案に係る定速走行装置の設定速度表示器の一実施例を示す図である。

【図2】 本実施例の定速走行装置の回路構成図である。

【図3】 本実施例の定速走行装置の動作を説明するフローチャートの一部である。

【図4】 本実施例の定速走行装置の動作を説明するフローチャートの一部である。

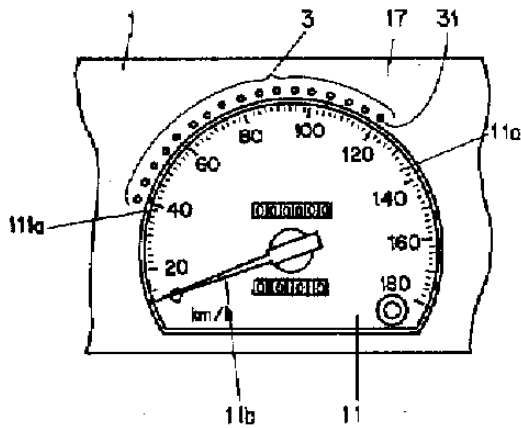
【図5】 本考案に係る定速走行装置の設定速度表示器の他の実施例を示す図である。

【図6】 従来の定速走行インジケータを示す図である。

【符号の説明】

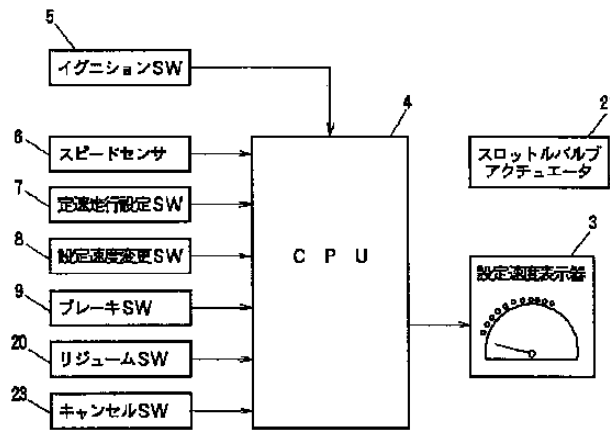
- 3 設定速度表示器
- 31 インジケータ
- 11 スピードメータ
- 111a 目盛り

【図1】

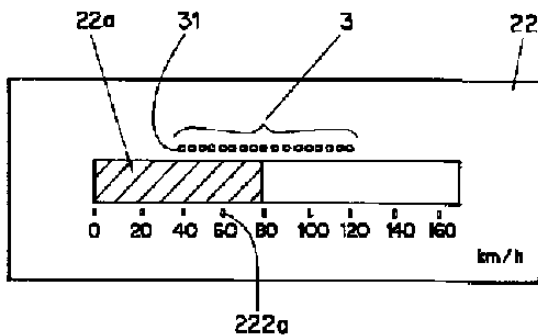


- 3..... 設定速度表示器
- 31..... インジケータ
- 11..... スピードメータ
- 111a..... 目盛り

【図2】



【図5】



(72)考案者 青木 邦光
静岡県裾野市御宿1500 矢崎総業株式会社
内

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、予め設定した一定速度で走行するように車両の走行を制御する定速走行装置において、設定速度を表示する設定速度表示器に関する。

【0002】

【従来の技術】

定速走行装置は、例えば高速道路等をアクセル操作やブレーキ操作を行うことなく長時間走行する場合に使用される。定速走行速度の設定は、任意所望の速度で走行していることをスピードメータの速度表示によって確認した後、設定スイッチをオンすることによって行われる。走行速度の設定後は、設定速度と実際の走行速度とが比較され、その比較結果によってエンジンのスロットルバルブの開度が自動的に開閉制御され、このことによって、車両が設定された一定速度を保持して走行されるようになる。なお、上述のようにして設定された設定速度は、必ずしも希望値と一致しないので、そのときはレバー操作によって変更できるようになっている。

【0003】

従来の定速走行装置においては、図6に示すように、車両用コンビネーションメータ1の一部分に定速走行装置のオン状態を点灯により、オフ状態を不点灯によってそれぞれ示す定速走行インジケータ1aが設けられているに過ぎなかった。

【0004】

なお、図6はコンビネーションメータ1を示し、コンビネーションメータ1は、文字板11a及びこの文字板11aと協働して速度表示を行う指針11bを有するスピードメータ11と、変速機のシフトポジションを表示するシフトポジション表示器12と、エンジンの回転数を表示するタコメータ13と、ガソリンの残量を表示する燃料計14と、エンジンの冷却水の温度を表示する水温計15とを備えている。更に、コンビネーションメータ1の下側部には、上記定速走行インジケータ1aと共に、バッテリー電圧低下等の種々の警告を表示するウォーニン

Explore Litigation Insights

Docket Alarm provides insights to develop a more informed litigation strategy and the peace of mind of knowing you're on top of things.

Real-Time Litigation Alerts



Keep your litigation team up-to-date with **real-time alerts** and advanced team management tools built for the enterprise, all while greatly reducing PACER spend.

Our comprehensive service means we can handle Federal, State, and Administrative courts across the country.

Advanced Docket Research



With over 230 million records, Docket Alarm's cloud-native docket research platform finds what other services can't. Coverage includes Federal, State, plus PTAB, TTAB, ITC and NLRB decisions, all in one place.

Identify arguments that have been successful in the past with full text, pinpoint searching. Link to case law cited within any court document via Fastcase.

Analytics At Your Fingertips



Learn what happened the last time a particular judge, opposing counsel or company faced cases similar to yours.

Advanced out-of-the-box PTAB and TTAB analytics are always at your fingertips.

API

Docket Alarm offers a powerful API (application programming interface) to developers that want to integrate case filings into their apps.

LAW FIRMS

Build custom dashboards for your attorneys and clients with live data direct from the court.

Automate many repetitive legal tasks like conflict checks, document management, and marketing.

FINANCIAL INSTITUTIONS

Litigation and bankruptcy checks for companies and debtors.

E-DISCOVERY AND LEGAL VENDORS

Sync your system to PACER to automate legal marketing.